



令和元年 12 月 25 日

大臣官房技術調査課

大臣官房公共事業調査室

建設現場の革新的な取組を行った 25 団体を発表！

～令和元年度 i-Construction 大賞の受賞者を発表します～

国土交通省は、建設現場を魅力ある現場に劇的に変えていくために、革新的技術の活用等により建設現場の生産性向上を図る「i-Construction」を推進しております。

平成 29 年度、ベストプラクティスの横展開に向けて、国土交通省発注工事を対象として、「i-Construction 大賞」を創設したところですが、今年度は地方公共団体等の取組みを対象に拡大し、計 25 団体（国土交通大臣賞 4 団体、優秀賞 21 団体）を決定しました。

1. 「i-Construction 大賞」とは

建設現場の生産性向上を図る「i-Construction」に係る優れた取組を表彰し、ベストプラクティスとして広く紹介し、横展開することにより、i-Construction に係る取組を推進することを目的に平成 29 年度に創設したものです。

2. 表彰対象・審査

平成 30 年度に完成した国や地方公共団体等が発注した工事・業務での元請け企業の取組や地方公共団体等の取組、i-Construction 推進コンソーシアム会員の取組を対象とし、i-Construction 大賞選考委員会において、有効性・先進性・波及性の観点から、計 25 団体（国土交通大臣賞 4 団体、優秀賞 21 団体）を受賞者に決定しました。（一覧は別紙 1、各取組概要は別紙 2-1～2-3 のとおり）

3. 今後の予定と取組について

後日、授与式を開催する予定です。詳細が決まり次第、お知らせします。

また、後日国土交通省 HP 等に受賞者の取組の詳細を掲載するなど、ベストプラクティスの横展開を推進します。

問い合わせ先

(i-Construction 大賞全般及び i-Construction 推進コンソーシアム会員の取組について)

大臣官房技術調査課 中西 健一郎、松葉 俊哉

TEL : 03-5253-8111 (内線 22339、22326)、03-5253-8219 (直通)、FAX : 03-5253-1536

(国及び地方公共団体等の取組について)

大臣官房技術調査課 辛嶋 亨、永瀬 薫

TEL : 03-5253-8111 (内線 22353、22355)、03-5253-8221 (直通)、FAX : 03-5253-1536

令和元年度 i-Construction大賞受賞者一覧

○工事・業務部門

NO	表彰の種類	業者名	工事／業務名	発注地等
1	国土交通大臣賞	株式会社 豊蔵組	H29・30能越道 長沢道路その7 工事	北陸
2	優秀賞	東洋建設 株式会社	函館港若松地区岸壁ドルフィン部その他工事	北海道 開発局
3	優秀賞	国道45号 夏井高架橋工事 三井住友・安部日鋼・日本ピーエス特定建設工事共同企業	国道45号 夏井高架橋工事	東北
4	優秀賞	沼田土建 株式会社	渋川西バイパス入沢他改良その1 工事	関東
5	優秀賞	矢作建設工業 株式会社	平成28年度 名二環かの里1 交差点南下部工事	中部
6	優秀賞	株式会社 オリエンタルコンサルタンツ	名塩道路城山トンネル他詳細修正設計業務	近畿
7	優秀賞	石井建材 株式会社	(砂) 一ノ崎川 砂防堰堤工事	兵庫県
8	優秀賞	高橋建設 株式会社	三隅・益田道路土田地区改良第2工事	中国
9	優秀賞	福留開発 株式会社	平成29-30年度 用石堤防漏水対策(その2) 工事	四国
10	優秀賞	株式会社 白海	平成30年度大分港(西大分地区)泊地(-7.5m)浚渫工事	九州
11	優秀賞	クモノコーポレーション株式会社	寺内ダム洪水吐び割れ等変状調査業務	水資源機構
12	優秀賞	株式会社 鏡原組	平成29年度宮平地区改良(その2) 工事	沖縄

○地方公共団体等の取組部門

NO	表彰の種類	取組団体名	取組名	発注地等
13	国土交通大臣賞	ふじのくにi-Construction推進支援協議会	ICT普及促進と3次元データ活用の取組	中部
14	優秀賞	ICT 東北推進協議会	産官連携による建設ICT総合研修拠点の形成	東北
15	優秀賞	茨城県	独自発注方式：チャレンジいばらき I・II 型	関東

○i-Construction推進コンソーシアム会員の取組部門

NO	表彰の種類	業者名	取組名	本社所在地
16	国土交通大臣賞	株式会社 昭和土木設計	地場コンサルからの全体最適化を目指した取り組み	岩手県
17	国土交通大臣賞	株式会社 ランドログ	LANDLOG Parter制度を通じたベンチャー連携	東京都
18	優秀賞	株式会社 復建技術コンサルタント	中小河川維持管理用ソフトウェア「e-River」の開発	宮城県
19	優秀賞	株式会社 Integral Geometry Science	インフラ構造物の非破壊検査に向けた世界最高性能・超広帯域レーダの実現	兵庫県
20	優秀賞	株式会社 エムールサポート	舗装修繕工事におけるICT積極活用の取組	京都府
21	優秀賞	株式会社 竹中工務店	EQハウスにおける外装パネル工事へのBIMデータの設計から施工まで一貫活用	大阪府
22	優秀賞	東急建設株式会社	東京メトロ銀座線渋谷駅移設工事における BIM/CIMの実践	東京都
23	優秀賞	Intelligent Style 株式会社	点群ブラウザ 3D PointStudio による道路地物の管理効率化	大阪府
24	優秀賞	株式会社 砂子組	ICT活用における組織連携	北海道
25	優秀賞	CONTACT (建設戦略会議)	自治体への取り組み	東京都

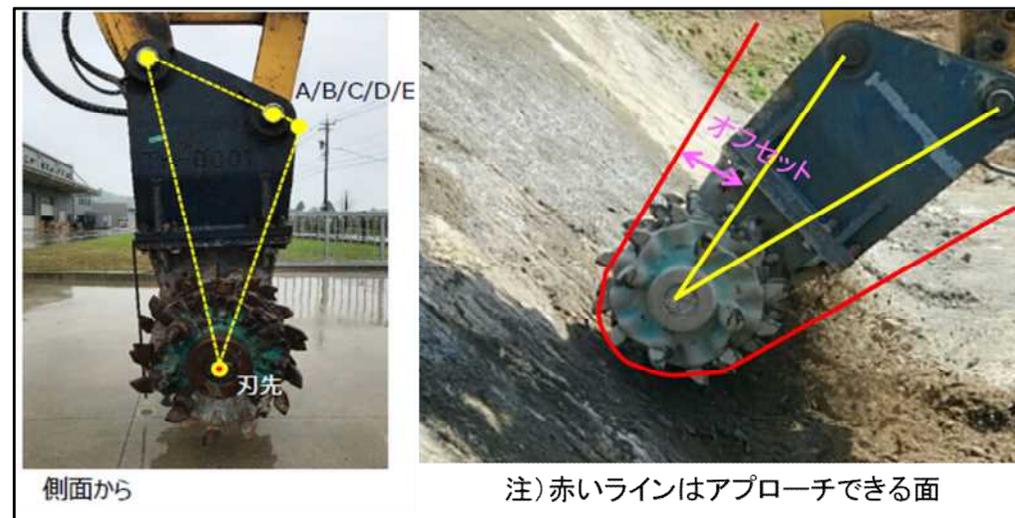
i-Construction大賞 受賞取組 概要 (工事・業務部門)

1. H29・30^{のうえつどう}能越道^{ながさわ}長沢道路その7工事

推薦者	北陸地方整備局
発注者	北陸地方整備局 金沢河川国道事務所
業者名	株式会社 豊蔵組
工期	2017年08月01日～2018年07月31日
施工場所	石川県輪島市
請負金額	214,164,000円

【工事・業務概要】

本工事は、能越自動車道・輪島道路11.5kmのうち、輪島市三井町長沢地先において、延長約420mの道路工事を施工したもの。岩が露出する法面整形において、ツインヘッダを装着したMCバックホウを使用し、大幅な施工性・品質の向上が図られた。



施工性や出来形精度の向上を図るため、アタッチメントの特性（形状整形可能な範囲等）を考慮し、マシンコントロール（MC）バックホウにツインヘッダを装着し、複数の独自の形状設定による施工を行い検証

- バックホウのアタッチメントをバケットからトンネル掘削などに用いられるツインヘッダーに付け替え、法面整形工の施工性、出来形精度について比較検証し、施工性については、バケットでの整形3倍。出来形精度については大幅な改善。
- 全国初の取り組み※となるツインヘッダーをICT建機（MC）と組み合わせることで掘削位置の把握（制御）が可能となり、出来形精度を求める法面整形工に適用。 ※独自にツインヘッダの形状設定を複数行い施工性、出来形精度を検証
- ICT建機（バックホウ）のアタッチメントをバケットからツインヘッダーに付け替えるだけで、追加整備等が必要無く適用可能。今後、ICT建機と既存のアタッチメントの組み合わせにより、新たな施工方法が開発される可能性があり、更なる生産性向上につながると期待。